


SBR



SBR



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

株式会社 SBR

平成23年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

平成23年2月4日



目次



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

1.決算ハイライト

損益計算書	・・・	4
サービス別売上高構成	・・・	5
営業費用(売上原価+販管費)	・・・	6
損益計算書(四半期推移)	・・・	7
サービス別売上高構成(四半期推移)	・・・	8
営業生産性推移	・・・	9
営業費用(売上原価+販管費)四半期推移	・・・	10
従業員数推移	・・・	11
貸借対照表(資産の部)	・・・	12
貸借対照表(負債・純資産の部)	・・・	13
キャッシュ・フロー	・・・	14

2.補足資料

業績及び経営指標の推移	・・・	16
平成23年3月期業績予想(通期)	・・・	17
サービス別売上高構成予想(通期)	・・・	18
経営方針:事業テーマ	・・・	19
経営方針:経営テーマ	・・・	20
下期重点取組事項	・・・	21
新たな子会社の設立	・・・	22
株主構成	・・・	23



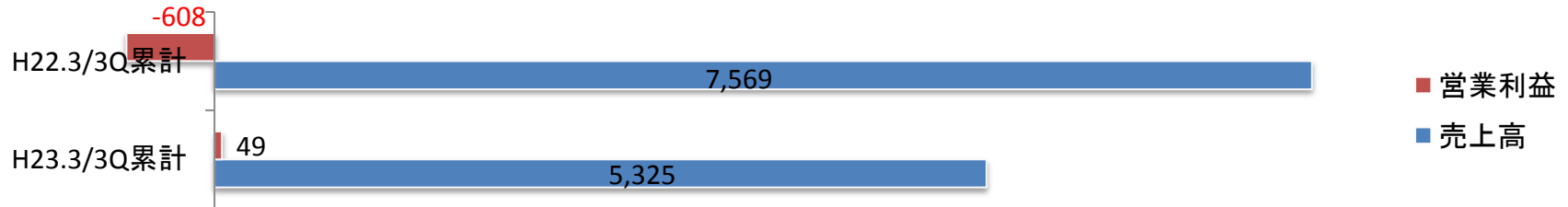
Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

平成23年3月期 第3四半期

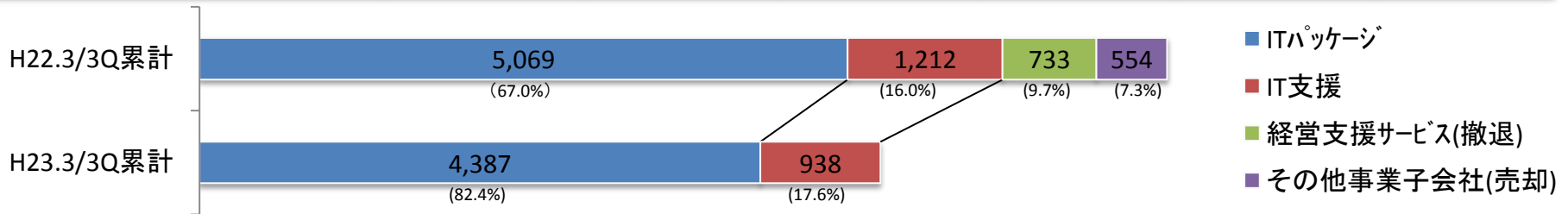
決算ハイライト

【単位:百万円】	H22.3 3Q累計	売上比	H23.3 3Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上高	7,569	100.0%	5,325	100.0%	△29.6%	△2,243
売上原価	2,340	30.9%	1,131	21.2%	△51.7%	△1,208
売上総利益	5,228	69.1%	4,194	78.8%	△19.8%	△1,034
販管費	5,837	77.1%	4,145	77.8%	△29.0%	△1,691
営業利益(△損失)	△608	△8.0%	49	0.9%	—	+657
経常利益(△損失)	△583	△7.7%	76	1.4%	—	+660
四半期純利益(△純損失)	△1,269	△16.8%	209	3.9%	—	+1,479



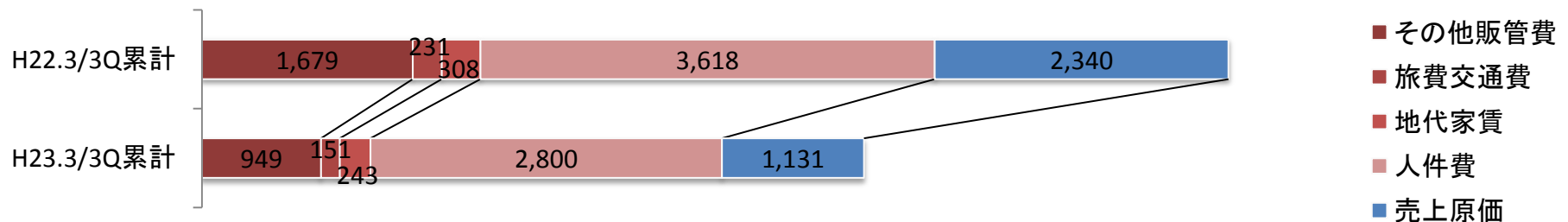
- » 利益率の高いITパッケージの売上高構成比が増加したことにより、売上高総利益率が9.7ポイント上昇したことに加え、前期に販管費の大幅な圧縮を実施し、今期も継続して販管費の低減に努めたことにより、販管費が前期比29.0%減少した結果、営業利益は49百万円(前年同期は△608百万円)と黒字転換
- » 旧金融サービス事業の不良債権について、想定以上に回収が進捗したことにより、当該債権の回収に伴う貸倒引当金の戻入を実施し、特別利益を計上した結果、四半期純利益は、黒字転換するとともに、前期比で大幅増益

【単位:百万円】	H22.3 3Q累計	構成比	H23.3 3Q累計	構成比	対前期 増減率	対前期 差額
ITパッケージ	5,069	67.0%	4,387	82.4%	△13.5%	△682
IT支援	1,212	16.0%	938	17.6%	△22.6%	△274
継続サービス計	6,282	83.0%	5,325	100.0%	△15.2%	△956
経営支援サービス(撤退)	733	9.7%	—	—	—	△733
その他事業子会社(売却)	554	7.3%	—	—	—	△554
非継続サービス計	1,287	17.0%	—	—	—	△1,287
売上高	7,569	100.0%	5,325	100.0%	△29.6%	△2,243

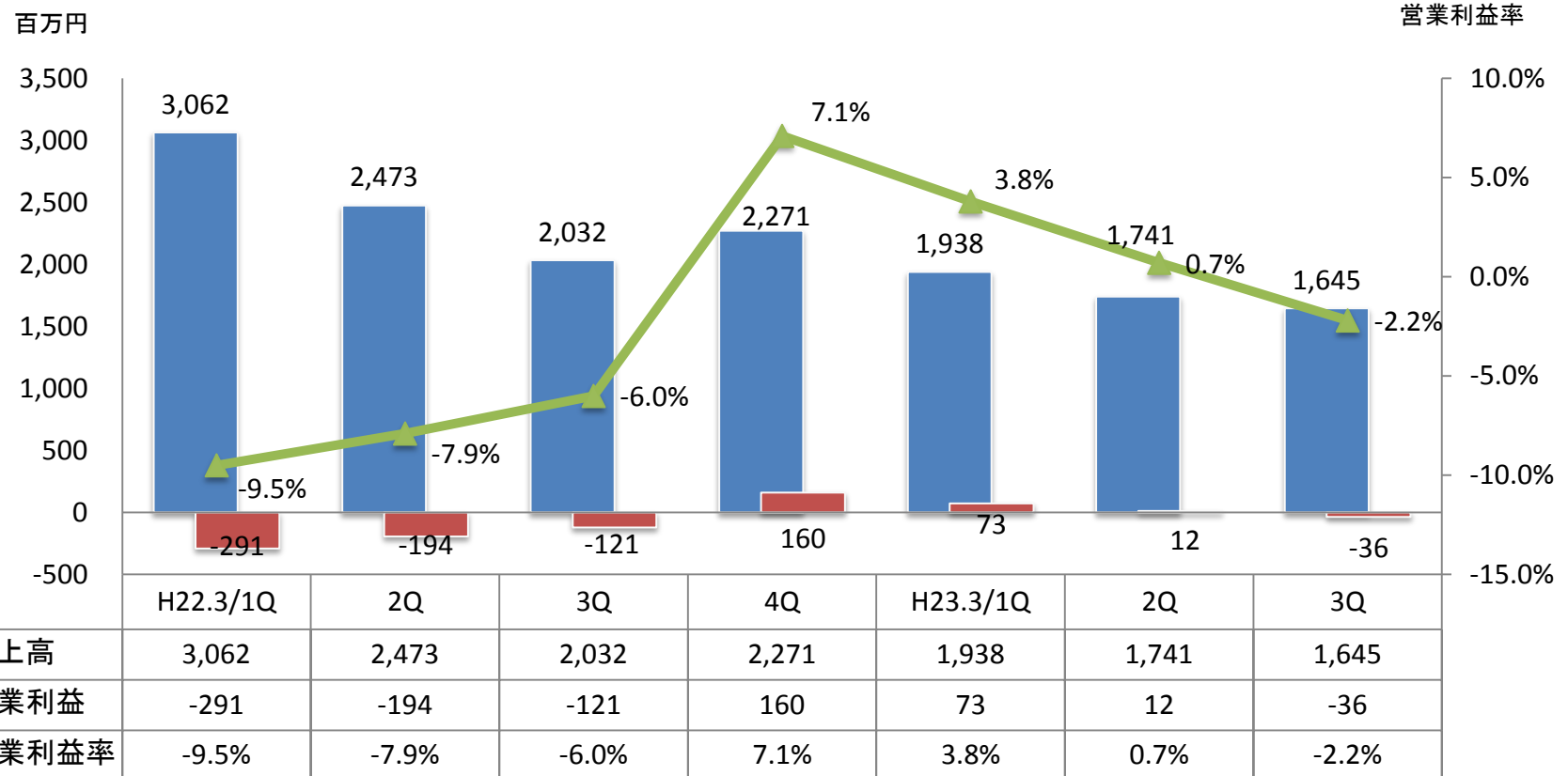


- » 前期において、戦略的に撤退した経営支援サービス及び売却したグループ子会社の売上高が減少
- » ITパッケージは、小企業の業況が弱含んで推移していること、採算性を考慮し展開業種の絞込みを行っていることから、前期比13.5%減少
- » IT支援は、収益性の観点から、より利益率の高い商材に絞込みを戦略的に実施したことにより、前期比22.6%減少

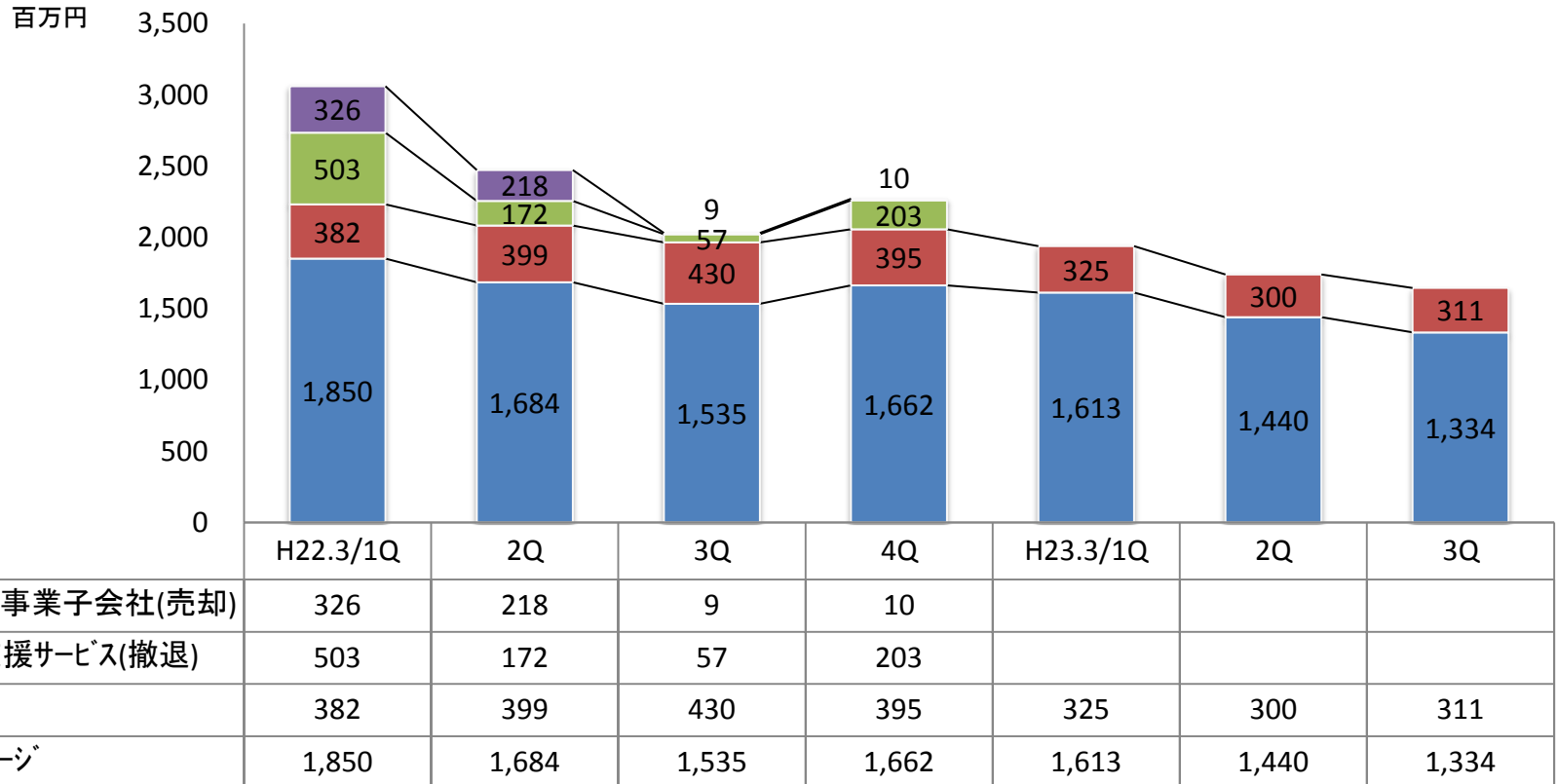
【単位:百万円】	H22.3 3Q累計	売上比	H23.3 3Q累計	売上比	対前期 増減率	対前期 差額
売上原価	2,340	30.9%	1,131	21.2%	△51.7%	△1,208
人件費	3,618	47.8%	2,800	52.6%	△22.6%	△818
地代家賃	308	4.1%	243	4.6%	△20.9%	△64
旅費交通費	231	3.1%	151	2.8%	△34.6%	△80
その他販管費	1,679	22.2%	949	17.8%	△43.4%	△729
販管費	5,837	77.1%	4,145	77.8%	△29.0%	△1,691
営業費用	8,177	108.0%	5,276	99.1%	△35.5%	△2,900



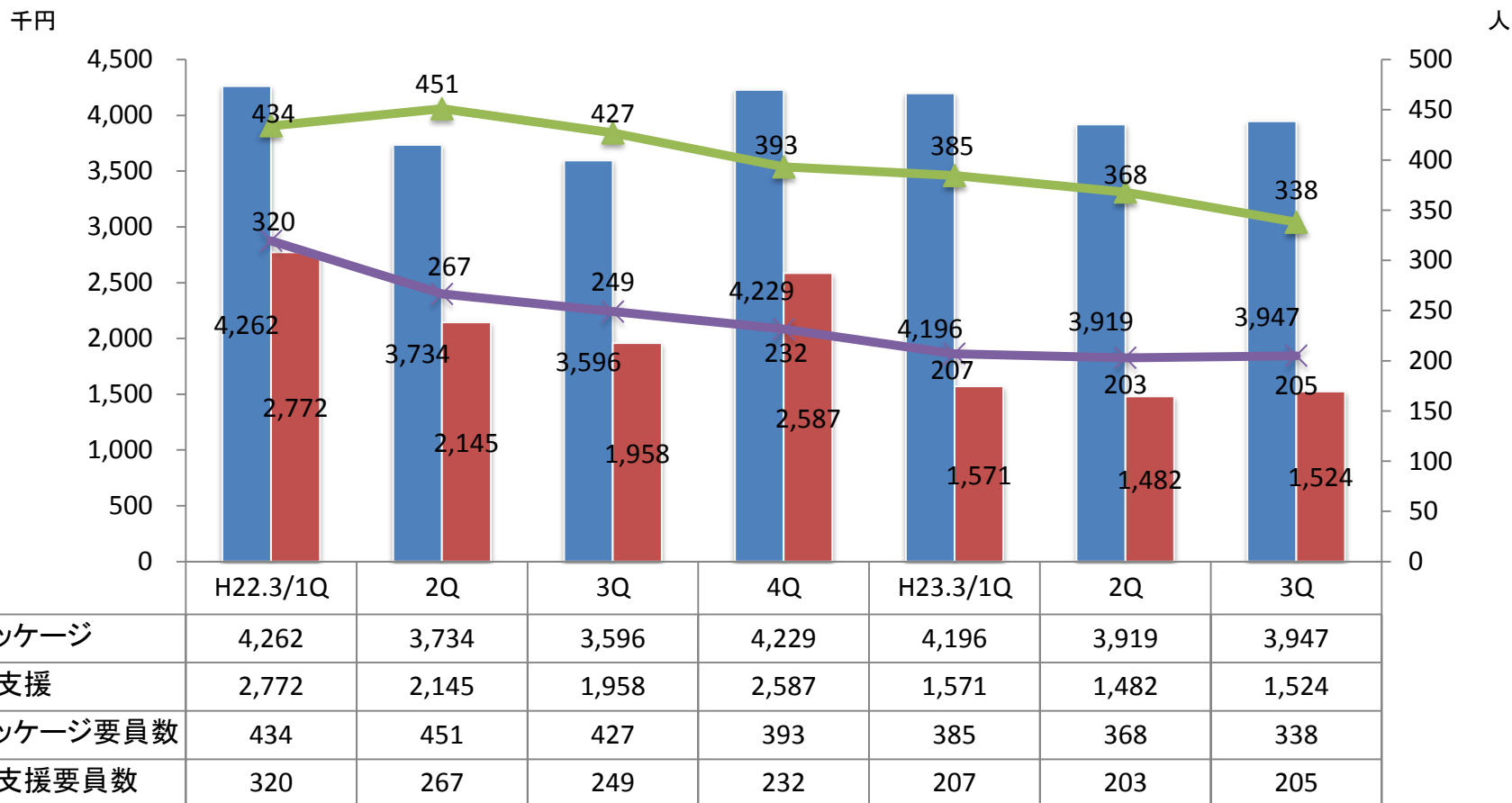
» 前期に年間を通じて販管費の大幅な圧縮を実施したことに加え、当期も引続き組織規模の適正化及びローコスト・オペレーションの徹底を推進し、販管費を削減した結果、営業費用は前期比35.5%減少



- » 第3四半期の売上高は、ITパッケージ売上高の減収により、第2四半期比5.5%減少
- » 第3四半期も継続して販管費の低減に努めたものの、売上高減少分を吸収するまでには至らず、第3四半期の営業利益は△36百万円にて着地



- » 第3四半期のITパッケージは、小企業の業況が弱含んで推移していることから、第2四半期比7.4%減少
- » 第3四半期のIT支援は、第2四半期と比較してヤフー売上及び広告売上が増加したことから、第2四半期比3.6%増加

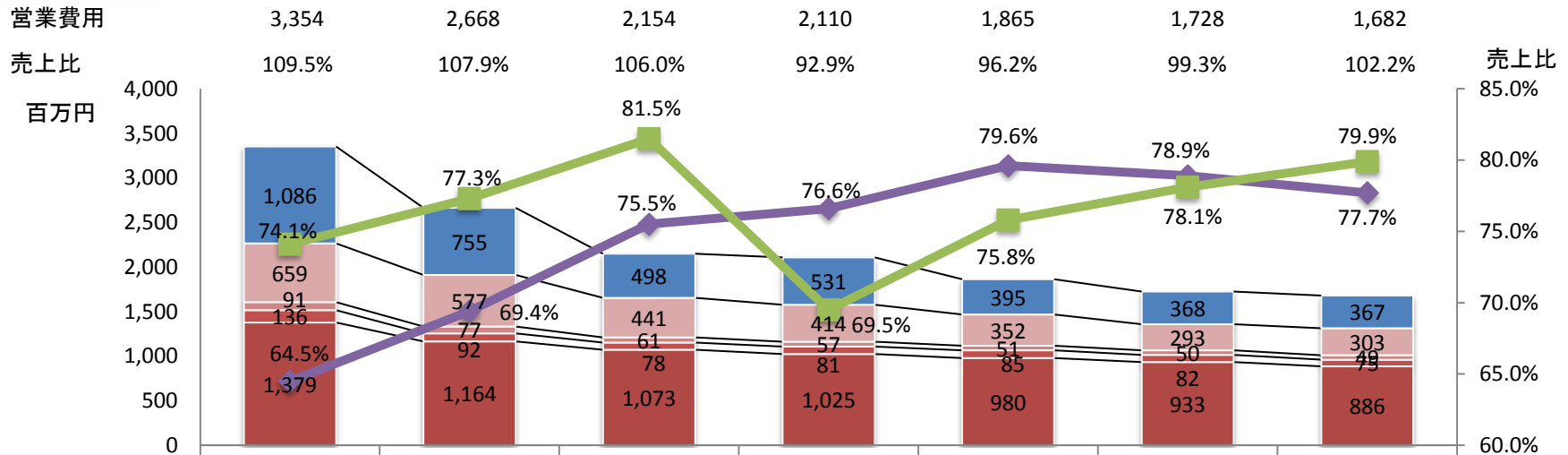


- » ITパッケージは、要員数が減少傾向にあるものの、営業生産性は同一水準を維持
- » IT支援は、要員数、営業生産性共に同一水準を維持

営業費用(売上原価+販管費)四半期推移

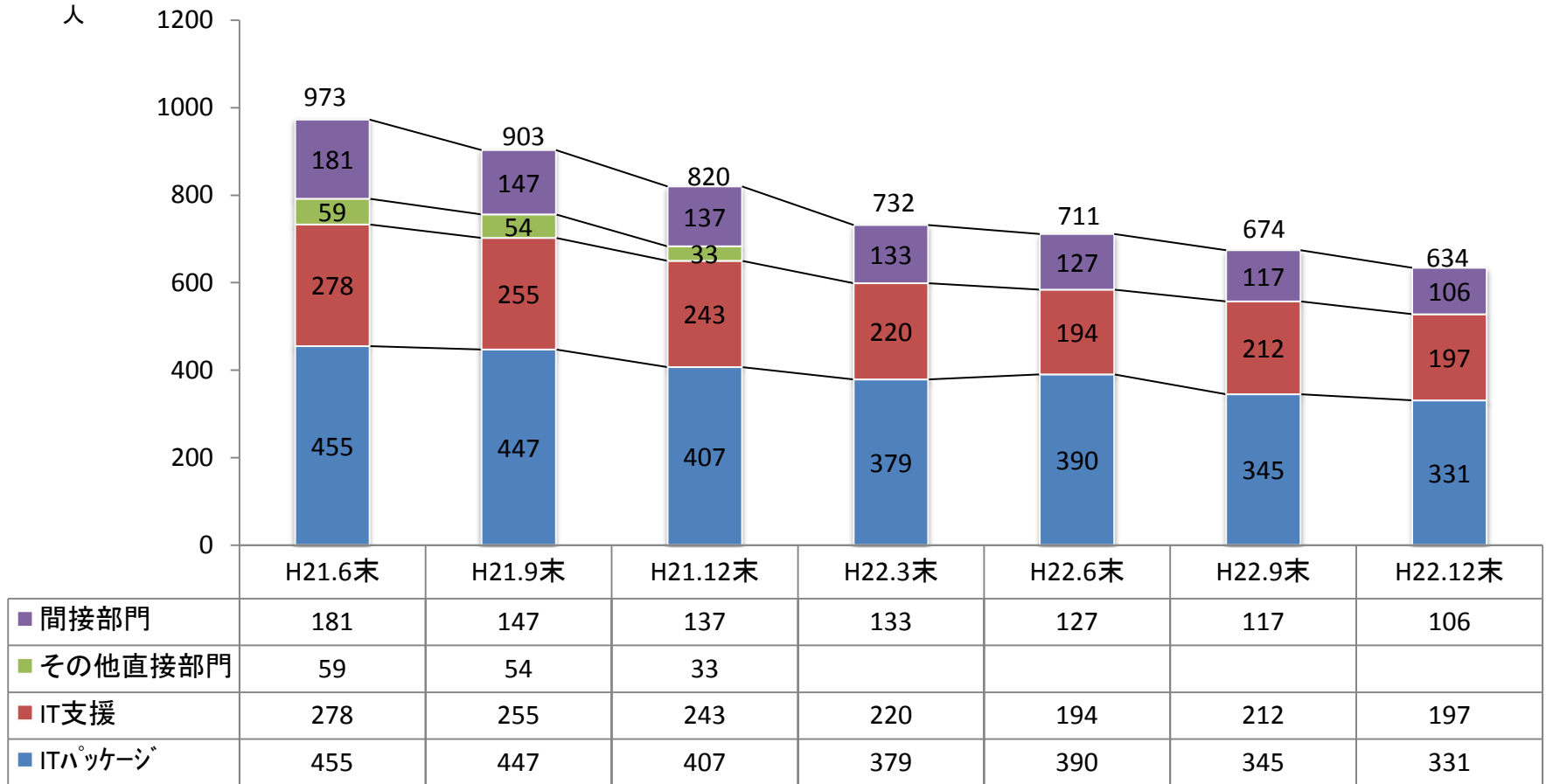
Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。



	H22.3/1Q	2Q	3Q	4Q	H23.3/1Q	2Q	3Q
売上原価	1,086	755	498	531	395	368	367
その他販管費	659	577	441	414	352	293	303
旅費交通費	91	77	61	57	51	50	49
地代家賃	136	92	78	81	85	82	75
人件費	1,379	1,164	1,073	1,025	980	933	886
粗利率	64.5%	69.4%	75.5%	76.6%	79.6%	78.9%	77.7%
販管費率	74.1%	77.3%	81.5%	69.5%	75.8%	78.1%	79.9%

- » 組織規模の適正化の推進、全社的なローコスト・オペレーションの徹底により、販管費は第2四半期比3.3%減少
- » 利益率の高いITパッケージの売上高構成比が2.2ポイント減少したことにより、粗利率は77.7%と第2四半期比1.2ポイント減少
- » 売上高の減少により、販管費率は79.7%と第2四半期比1.8ポイント上昇



» 組織規模の適正化の推進により、従業員数は減少傾向にて推移

【単位:百万円】	H22.3末	構成比	H22.12末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動資産 合計	3,001	64.2%	3,705	73.8%	+23.4%	+703
現金及び預金	2,121	45.4%	3,135	62.4%	+47.8%	+1,014
その他	880	18.8%	570	11.3%	△35.2%	△310
固定資産 合計	1,672	35.8%	1,316	26.2%	△21.3%	△355
有形固定資産	198	4.2%	250	5.0%	+26.6%	+52
無形固定資産	542	11.6%	521	10.4%	△4.0%	△21
投資その他の資産	931	19.9%	544	10.8%	△41.6%	△386
資産 合計	4,674	100.0%	5,022	100.0%	7.4%	+347

- » 流動資産は、第三者割当増資の払込を受けたこと等による現金及び預金の増加等により、前期末比23.4%増加
- » 固定資産は、旧金融サービス事業の債権回収等による破産更正債権等の減少等により、投資その他の資産が減少し、前期末比21.3%減少

【単位:百万円】	H22.3末	構成比	H22.12末	構成比	対前期末 増減率	対前期末 差額
流動負債 合計	1,999	42.8%	1,323	26.4%	△33.8%	△695
短期借入金	500	10.7%	—	—	—	△500
未払金	697	14.9%	543	10.8%	△22.1%	△154
その他	801	17.1%	779	15.5%	△2.7%	△21
固定負債 合計	18	0.4%	7	0.2%	△56.9%	△10
負債 合計	2,017	43.2%	1,331	26.5%	△34.0%	△686
資本金	7,744	165.7%	8,151	162.3%	+5.3%	+407
その他	△5,087	△108.8%	△4,460	△88.8%	—	+626
純資産 合計	2,656	56.8%	3,691	73.5%	+38.9%	+1,034
負債・純資産 合計	4,674	100.0%	5,022	100.0%	+7.4%	+347

- » 負債は、借入金の返済による短期借入金の減少、仕入債務の減少等による未払金の減少等により、前期末比34.0%減少
- » 純資産は、第三者割当増資の払込を受け、資本金および資本準備金が増加したこと等により、前期末比38.9%増加

【単位:百万円】	H22.3 3Q累計	H23.3 3Q累計	(参考) H22.3 4Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	411	807	229
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,543	△103	1,653
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,200	314	△3,179
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△1,245	1,018	△1,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,165	3,131	2,112

- » 営業CFは、貸倒引当金及び未払金減少等により減少した一方で、税金等調整前四半期純利益が黒字となったことに加え、売上債権及び破産更正債権等の減少等により増加
- » 投資CFは、投資有価証券の売却による収入、敷金及び保証金、貸付金回収による収入等により増加した一方で、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出等により減少
- » 財務CFは、短期借入金の返済による支出等により減少した一方で、株式の発行による収入等により増加



補足資料

当期の連結業績予想に関する事項につきましては、平成22年10月19日に開示しました「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更はございません。



業績及び経営指標の推移



Small Business Relationship

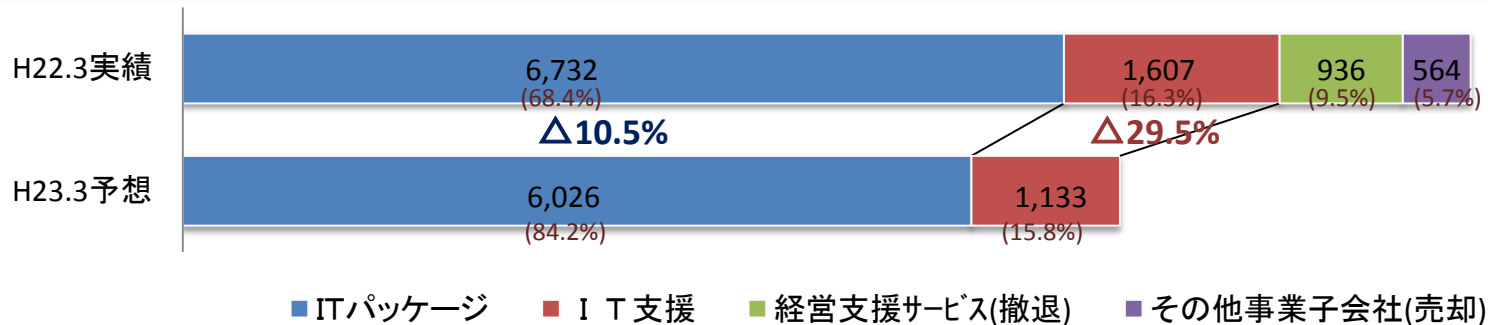
私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

【単位:百万円】	H18.3 (実績)	H19.3 (実績)	H20.3 (実績)	H21.3 (実績)	H22.3 (実績)	H23.3 (予想)
売上高	20,329	22,974	17,957	18,420	9,840	7,160
営業利益	4,267	941	△740	△897	△447	50
当期純利益	2,398	△815	△6,437	△9,547	△958	223
営業活動におけるキャッシュフロー	2,734	△3,208	△1,583	△13	229	N/D
現金及び現金同等物の期末残高	5,360	5,756	4,521	3,411	2,112	N/D
純資産	11,242	20,112	13,346	3,594	2,656	3,697
流動比率	101.9%	325.8%	207.8%	75.7%	150.4%	287.6%
有利子負債	5,249	287	1,723	3,720	500	0
グループ会社合計	10社	15社	16社	11社	2社	2社
従業員数	1,285人	1,636人	1,364人	1,074人	732人	639人

【単位:百万円】	H22.3通期 (実績)	売上比	H23.3通期 (予想) ※H22.10.19公表	売上比	対前期 増減率
売上高	9,840	100.0%	7,160	100.0%	△27.2%
売上原価	2,872	29.2%	1,496	20.9%	△47.9%
売上総利益	6,968	70.8%	5,664	79.1%	△18.7%
販管費	7,415	75.3%	5,613	78.4%	△24.3%
営業利益(△損失)	△447	△4.5%	50	0.7%	—
経常利益(△損失)	△414	△4.2%	65	0.9%	—
当期純利益(△純損失)	△958	△9.7%	223	3.1%	—
(参考)継続サービス売上高	8,339	84.7%	7,160	100.0%	△14.1%

- » 売上高は、前期撤退した経営支援サービス、株式売却したグループ子会社分の減少に加え、経済状況を鑑み、既存サービスの受注を保守的に見積もった結果、対前期比27.2%減少の見通し
- » 前期より「本業回帰」の方針を打出し、利益率の高いITパッケージの売上高構成比が向上したことで売上総利益率が向上することに加え、前期取組んだ販管費抑制の効果が年間を通じて寄与してくることから、販管費は対前期比24.3%減少の見通しであり、営業利益が黒字転換の見通し
- » また、当期純利益も223百万円と累積赤字に歯止めがかかる見通し

【単位:百万円】	H22.3 (実績)	構成比	H23.3 (予想)	構成比	対前期 増減率
ITパッケージ	6,732	68.4%	6,026	84.2%	△10.5%
IT支援	1,607	16.3%	1,133	15.8%	△29.5%
継続サービス計	8,339	84.7%	7,160	100.0%	△14.1%
経営支援サービス(撤退)	936	9.5%	—	—	—
その他事業子会社(売却)	564	5.7%	—	—	—
非継続サービス計	1,500	15.3%	—	—	—
売上高	9,840	100.0%	7,160	100.0%	△27.2%



※1:ITパッケージは、ITパッケージ及びカスタマーサポート(前期は経営支援サービス)を示します。

※2:IT支援は、ヤフー商材、WEB広告、WEB制作及びその他IT支援(全て前期は経営支援サービス)を示します。

※3:経営支援サービス(撤退)は、開業支援サービス、金融支援サービス、人材支援サービス及び通信機器等の撤退サービスを示します。

※4:その他事業子会社は、関連会社のうち株式売却等により連結子会社から除外された会社分の売上を示します。

事業テーマ

- 利益体質への転換に向けた事業構造の改革

BPRの推進による生産性の追及

- ITパッケージ営業における営業スキルの底上げ
- アポイント活動の業務プロセスの再構築
- 契約プロセスの一元管理体制の確立

ストック型ビジネスへの転換に向けた次世代コア商材の開発

ローコスト・オペレーションの継続実施

経営テーマ

- 内部管理体制の更なる強化

コーポレート・ガバナンスの強化

再発防止策の継続実施

開示書類に関する法令遵守体制の整備

■通期業績予想達成のための下期施策

平成23年3月期の通期業績予想を達成させるために、特に重要となる下期の取組みとしては、以下2点にポイントを絞り注力

ITパッケージ営業の営業活動量の最大化

更なる販売管理費適正化の推進

■来期に向けての取組み

「次世代コア商材の開発」は順調に進捗

現在、開発中の次世代コア商材の販売体制強化を目的に、新たな子会社を2社設立

株式会社くるねっと

- アウトバウンドコールを主体としたアプローチからの訪問営業により、採算性の高い顧客業界への販売活動を推進していくことで、安定的な収益確保を目指す。

株式会社イーフロッグ

- 新たなアプローチ手法を展開することにより、これまで採算性等の観点から取り込むことができなかった顧客業界への販売活動を行うことで、当社グループとしての販売チャネルの多角化を推進して、新たな収益の確保を目指す。

会社設立日： 平成23年2月1日
事業開始日： 平成23年4月1日(予定)

当該子会社の設立に伴う、平成23年3月期における当社連結業績に与える影響は軽微であります。
※詳細は、平成23年2月1日付「子会社設立に関するお知らせ」を参照



株主構成



Small Business Relationship

私たちは、小企業を活性化するエンジンとなります。

株主セグメント	平成21年9月末現在				平成22年3月末現在				平成22年9月末現在			
	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)	株主数 (人)	構成比 (%)	株式数 (株)	構成比 (%)
政府及び地方公共団体	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
銀行・信託銀行	1	0.01	70	0.01	1	0.01	74	0.01	0	0.00	0	0.00
生保・損保会社	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
その他金融機関	2	0.02	21,167	4.10	2	0.02	18,479	3.58	2	0.02	8,508	1.09
証券会社	15	0.13	3,171	0.61	12	0.11	3,754	0.73	15	0.14	37,157	4.78
その他法人	107	0.94	143,769	27.85	96	0.88	116,142	22.50	93	0.88	338,491	43.55
外国法人等	30	0.26	3,897	0.76	29	0.27	1,903	0.37	25	0.24	1,516	0.20
個人・その他	11,197	98.63	343,332	66.52	10,755	98.71	375,054	72.66	10,392	98.71	390,800	50.28
自己株式	1	0.01	748	0.14	1	0.01	748	0.14	1	0.01	748	0.10
合計	11,353	100.00	516,164	100.00	10,896	100.00	516,164	100.00	10,528	100.00	777,220	100.00

大株主	10	0.09	278,335	53.92	10	0.09	252,724	48.96	10	0.09	476,813	61.35
浮動株式	11,348	99.96	328,419	63.63	10,890	99.94	354,042	68.59	10,523	99.95	612,336	78.79
特定株	13	0.11	279,163	54.09	14	0.13	253,652	49.14	14	0.13	477,675	61.46

※浮動株式 役員持株、主要株主及び自己株式を除いた株主数及び株式数
 ※特定株 大株主、役員持株及び自己株式を合計した株主数及び株式数

当社は平成22年6月25日付にて、株式会社光通信及び光通信グループ会社3社に対して第三者割当増資による新株式を発行したことに伴い、発行済株式数は777,220株となっております。



お問い合わせ

株式会社SBR(エスピーアール) 総合企画部(IR担当)

Tel 03-5733-4492

Mail ir@sbr-inc.co.jp

IRインフォメーション

SBR IRページ <http://www.sbr-inc.co.jp/investor/>

本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手した情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別な事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果が生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられる情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複製、または転送等を行わないようお願いいたします。